



# まちだの新たな 学校づくり通信

Machida New Concept School 2040

2026年2月発行

南第三・南第四地区

- 1頁 意見交換会
- 2頁 地域活用型学校  
基本計画検討会

ともに学び、ともに育つ学び舎づくりを目指して

【発行】町田市教育委員会

## 新たな学校づくり意見交換会を開催しました！

保護者や地域の方々から、学校の統合や新校舎の整備に向けて、気になることや期待することなど、基本計画検討会における検討課題を整理するため、意見交換会をオープンハウス形式で開催しました。

本号では、主なご意見と回答を紹介します。その他のご意見と回答は、町田市ホームページに掲載しています。



統合新設小学校意見交換会  
(南第三小学校・南第四小学校)

**Q：**統合は仕方ないが通学の安全対策をしてほしい。

**A：**町田市では児童の通学の安全を守るため、教育委員会、学校、警察、道路管理者等の関係機関と協力し、定期的に通学路の合同点検と対策を実施しています。

統合校の新たな通学路についても、保護者、地域の方、学校運営協力者、教職員の代表で構成する「新たな学校づくり基本計画検討会」において、安全対策等について検討します。



**Q：**学校への距離が遠くなるお子さんのことがすごく気になっています。

**A：**学校統合に伴い通学距離が長くなる児童を対象に、より近い学校への転校・入学を認める「学区外通学制度」を設けています。具体的には、2034年度の学校統合時、新校舎（現南第四小学校跡地）への通学距離が、1.5km以上となる在校生は、各校の受入枠の範囲内で通学距離が1.5km未満の隣接校（町田第二小学校や高ヶ坂小学校など）へ転校することができます。

なお、新入学生については、各校の受入枠の範囲内で、入学前に隣接校への通学を希望することができます。

**Q：**新校舎・仮校舎にはエレベーターがありますか？けがや体調不良、重い物を運ぶときに使用できるでしょうか？

**A：**新校舎および仮校舎にはエレベーターを設置する予定です。児童や保護者の皆さまにご利用いただけます。車いすのためのバリアフリー対応はもちろん、けがや体調不良の際の移動、重い物の運搬など、様々な状況での利用を想定しています。



Q：学校跡地は何になります？避難施設機能を引き継ぐそうですが、どのような施設になりますか？

A：南第三小学校の次の活用については、2026年度から検討を開始する予定です。地域のご意見や土地の特性等も踏まえながら、市の施策の実現に向けた活用や、市民や民間事業者による活用可能性など、幅広く検討していきます。なお、避難施設機能については、原則100人程度の受け入れ可能な避難スペースの確保、給水機能としての応急給水栓や受水槽など、災害時のインフラ支援にあたる機能を引き継ぎます。



新たな学校づくり推進計画では

## 地域活用型学校（市民生活の拠点づくり）を目指しています！

学校を子どもたちだけの場ではなく、子どもも、大人もともに学び、ともに育つ場にしていきます。これからの学校は、学校教育の場や身近な避難施設としての役割に加え、多様な人々が学校につどい、活動や交流をする「地域の活動拠点」となることを目指しています。

新たに整備する学校は、普通教室などの学校専用エリアと地域開放エリアの導線を分けることで、誰もが安心して利用できるセキュリティを確保します。こうした取り組みを、より分かりやすく「地域活用型学校」と名付け、推進しています。



検討を進めていきます！

## 南第三・南第四地区小学校新たな学校づくり基本計画検討会

2026年度から統合対象校の保護者、地域の方、学校運営協力者、教職員の代表で構成する「新たな学校づくり基本計画検討会」を設置します。検討会では、意見交換会で寄せられたご意見を参考に、施設整備、通学の安全対策、児童への配慮等について具体的に検討します。

		9年前 25年度	8年前 26年度	7年前 27年度	6年前 28年度	5年前 29年度	4年前 30年度	3年前 31年度	2年前 32年度	1年前 33年度	【統合】 34年度
統合に向けた準備・検討		意見交換会	基本計画 検討会	新たな学校づくり基本計画推進協議会							
対象校等	南第四小学校	既存校舎				校舎解体及び新築工事					新校舎使用開始
	仮校舎（南中校庭）					位置変更	仮校舎		統合		
	南第三小学校	既存校舎									